

メールクォータ監視スクリプト

Ver.7.0

インストールガイド

2009/09/30 初版

<< 変更履歴 >>

変更年月日	変更内容
2009/09/30	初版

<< 目次 >>

1	はじめに.....	3
1.1	前提条件	3
1.2	目的	3
1.3	動作仕様	3
2	インストール	4
2.1	スクリプトの設置	4
2.2	スクリプトの改修	4

1 はじめに

本ドキュメントは、Cyrus IMAP 用メールクォータ監視スクリプトのインストール手順について記述しています。

1.1 前提条件

Cyrus IMAP サーバ専用のシェルスクリプトです。CyrusIMAP サーバ以外の IMAP サーバでは動作しません。
本スクリプトは、動作サンプルですので、ご利用の各環境に応じて、シェルスクリプトの内容を変更してください。

1.2 目的

Cyrus IMAPではメールボックス容量がIMAPのメールクォータ警告値に達した際に、該当ユーザーに警告メールを送信する機能がないため、メールクォータ警告値に達したユーザーに対し、警告メールを送信する。

1.3 動作仕様

本スクリプトでは、以下の仕様にて、メールクォータの警告メールを送信します。

1. メールクォータ警告値の取得
→etc/imapd.conf quotawarn 値
2. メールクォータ設定ユーザーのリストを作成
→var/lib/imap/quota 以下のユーザーファイル名を取得
3. メールクォータとメールボックス使用量を取得
→var/lib/imap/quota 以下のユーザーファイルに記載
4. メールクォータサイズに対してメールボックス使用量が何%か算出
5. メールボックス使用率がメールクォータ警告値に達しているか
6. メールクォータサイズを超えている場合はユーザーにメールを警告メールを送信
7. 開始・終了時間・ワーニングユーザーと使用率をログ出力

2 インストール

2.1 スクリプトの設置

1. Cyrus IMAP が動作しているメールサーバの任意のディレクトリに `quota.sh` (メールクォータ監視スクリプト) を配置してください。

2. 実行権限の付与

`chmod` コマンド等で実行権限を付与してください

例:

```
# chmod 0755 /root/mailquota/quota.sh
```

3. Cron の設定

定期的に行われるように、`cron`などで定期実行されるように設定してください。

例: (1 日 1 回深夜 0 時に実行)

```
# crontab -e
0 0 * * * /root/mailquota/quota.sh
```

2.2 スクリプトの改修

スクリプト実行前に、`quota.sh` の以下の箇所を各環境に応じて、変更してください。

1. スクリプト処理用ファイル出力先: `quota.sh`: 4~6 行目

例:

```
LIST=/root/mailquota/list.txt
DIRLIST=/root/mailquota/dirlist.txt
USERLIST=/root/mailquota/userlist.txt
```

2. ログ出力先: `quota.sh`: 9 行目

例:

```
LOG=/root/mailquota/log/quotawarn.log
```

3. メール本文雛形: `quota.sh`: 12 行目

指定するパスに、JIS エンコーディングで、警告メールの本文を記載したテキストファイルを作成してください。

例:

```
BODY=/root/mailquota/body.txt
```

4. メール本文一時ファイル: `quota.sh`: 15 行目

例:

```
BODY_TMP=/root/mailquota/bodytmp.txt
```

メールクォータ監視スクリプト Ver. 7.0
インストールガイド

2009/09/30 初版

Copyright 2000-2009 株式会社 NTT データ イントラマート
All rights Reserved.

TEL: 03-5549-2821

FAX: 03-5549-2816

E-MAIL: info@intra-mart.jp

URL: <http://www.intra-mart.jp/>